



題字 菅原田 親

No. 500

2007/02/05

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8455  
岡山市東区3-8-30-514  
TEL.(086)272-8910  
郵便番号100  
01250-0-4635  
http://r12hong.jp/  
index.html

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒101-8555 東京都千代田区  
西葛西1-1-1 東大平ビル4階

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://r12hong.web.infoseek.co.jp  
新・メールアドレス  
r12hong86@hotmail.co.jp



一月二四日 岡山平和のつどいが開かれた岡山市民会館。開会時間が過ぎてもおお、入場のつづく盛況さを見ました。当日券による直接参加も二百人を数えました。

北は新庄村や津山市、高梁市や新見市から。南は玉野市からの参加も数多く、岡山市内の人だけではない人たちが多く見られました。この日倉敷からバス二台を仕立てて参加した 九条の会など、創意と工夫がありました。何としても会を成功させたい決意や意気込みを、強く感じました。

現在、岡山県内には 九条の会が、地域に職場に続々と作られています。

思想信条をこえ 憲法九条を変えさせない、『戦争をする国には絶対にさせない』のただ一点で参集しています。この岡山県九条の会の参加数は一七六。中四国九州では福岡県一八六に次ぐ数だと伝えられています。

岡山県九条の会には、宗教者九条の会、弁護士九条の会、マスコミ九条の会、科学者九条の会など、実に多彩な人々が会を作っています。日中

## 熱演に共感の拍手

### 岡山・平和のつどい

岡山九条の会も、もちろん参加しています。

この一七六の会から、四九の会が参加して実行委員会を作り、二〇を越える種々の団体の協力を得て、実行委員会をたびたび開き、この日の成功をかち得ました。

つどいは、山口和秀実行委員長(岡山大学教授)の挨拶で始まり、

つづいて日本のフオーク・ソング運動の中で大きな力を発揮する『壺木透と雑花塾』が、歌とスピーチで憲法九条の大切さを訴えました。

笠木さんは 戦争の被害者だから九条を守ろうというだけではなく、アジアの多くの人々の命を奪った加害者だから、守らねばならないのだと鋭く指摘しました。

全国九条の会、九人の呼びかけ人の一人である 澤地久枝さんの講演では、熱弁と歯に衣着せな

い鋭い批判が何度も拍手を呼びました。九条を守り生かすには、国民一人ひとりの大きな努力がある。九条はわれわれの命の拠り所なのだ。一歩も後へ引かない覚悟と努力をしよう。中身の濃い話でした。講演の拍手は長くつづき、会の成功を証拠たてていました。



澤山

### 参加者の感想

アンケートより

笠木 透と雑花塾 ― 今まであまりきちんと聴いたことはなく、どっぴかというところサンバンドなんて...と思っていました。今日聴いて涙が出るくらいよかったです。特に、ホウセンカ、私はまだ勉強不足で、インフのこを少ししか知りません。でも早く勉強して語りつき、知らせていかなければいけないと改めて思いました。

澤地久枝 ― 小泉政権を支えていたのは女たちで、自分が女ながらも情けなく、思っていました。私も3人の子を育てている母親であり、子供に対しては男親以上に責

### 上海からの便り

## 日本と中国のちがいは 上海から見ても

木村友美



上海・魯迅公園

残留孤児とその父親を主人公にした大作 大地の子を基に、私のように残留孤児に対する理解をもった若者もいるかと思いますが、古い悪い意味での日本人的な考えからすれば、触れたくないのかその点に關し対処が遅れるのは残念ながら無理もない状況かとも思えます。

活動を続けて、彼らの受けてきた苦勞と環境についても訴え、力を入れるほかにないかと思えます。

この国に住んでいるからこそ実感があります。一部の人を除いては理解するのは難しいはず。残留孤児問題のみならず、中国人犯罪などに対する見方もここに住ん

任を感じます。PTA役員として長く学校と関わってきましたが政治的発言できません。

澤地さんのお話に、少し背中をおされた気がします。平和のために一人一人ができることは必ずあります。できることから始めたいと思います。

― 全体 ― 休憩時間が少なかったなあって思いました。私は中学3年生なのですが、同世代の人がほとんどいなかったから学校とくに宣伝して若い人もくるかなあ、きてほしいなあっておもいました。

でみれば変わります。というの、日本はアジア圏の中でも特殊ですが、島国であり、発展した国でもあり、国民の生活のバランスも均等に取れている恵まれた国です。外国の良いものは積極的に受け入れ、良質の物で溢れ返り、国民の性質は協調性にも富んでおり、問題を嫌います。

時々中国人から聞く言葉ですが日本国民は素晴らしい！いい国民だ。ただし政府は悪いが。このあたりに関しても、日本人以上に政治に関して関心を持っていることは伺えます。そして、人それぞれ見方は全く違います。



魯迅記念館・内山完造像 木村友美さん撮影

### 孤児裁判・東京地裁不当判決に 抗議の宣伝活動を

お粗末さわる東京判決へ、抗議と市民の深いご理解を得たいと、ビラまき宣伝を下記のようにします。ご参加、ご協力をお願いします。

とき\*2月5日(月)11時30分~13時  
ところ\*表町天満屋本店アリスの広場前

# 中国建徳市に桜千本を植える

## ボランティア活動 ⑨

杉元 邦太郎

### Ⅲ ネットワーク単独の二回目の訪建

(2003 平成15年11月22日)

2003年11月には、桜植樹ではなく、ネットワーク独自の9人のチームで建徳訪問を行っている。その目的は、それまでに植えた桜のその後の育ち具合を見届けると、翌年に建徳市から島根県に第二回目の訪問を実現するための打ち合わせを兼ねた訪建であった。また毎年の団体募集には無理があるということもあって、一年の間を空けることになった。

このときにも例年のように歓迎パーティーがあり、翌日には今までに植えた桜の育ち具合を見に出かけた。さらに増植するための現地や新市街地の視察を行った(このときに筆者は、孟浩然が新安江で一夜を過ごしたときの書を頂いた)。

その帰路には紹興市に立ち寄った。杭州、紹興、寧波は「杭州湾」に面している、いずれも日本とはなじみの多い街々である。杭州については第一回目のネットワーク訪問の時に簡単に触れたが、この街は今更いまでも南末の首都として、東方見聞録でマルコポーロも絶賛した街である。当時は「臨安府」と呼んだそうだが、それは宋朝のそもその都が長安であったことから、元に追われて南宋となったときに、臨時の都という意味からつけた地名であるとい

会稽は越(日本では呉越同舟・臥薪嘗胆などの諺で知られている)の国の都であり、やがて楚に滅ぼされた。文豪魯迅の誕生の地であり、書聖王羲之の活躍した街として名が知られている。今では酒の縁で西宮市と友好提携を結んでいる。

紹興は江南の水郷地帯に位置している関係もあり、街の中には運河が整備されており、それを利用した水運も発達している。利用する船は手足を使って漕いでいく「三班(サンパン)の一種である。

つづく



建徳小学校訪問02. 4. 18

紹興はもちろん「紹興酒」で有名であるが、実は遠く春秋時代に「会稽」という都があったことで知られる。

## 第30回 中国料理教室「南昌の料理」

六年前の十一月に始まった中国料理教室は、以来六年を数えてこのほど第三〇回を迎えました。

豪華な料理ではなく、それぞれの中国家庭にあるおいしい料理をくとのねらいました。できれば中国全土を駆け巡って学びたいという意図もありました。

中国の食は、北の粉食文化、南の米食文化に大別できますが、今までは北の国々の食を例えれば餃子に見られるように、学ぶことが多くありました。南の地方の料理を学ぶことは少なかったのです。

この度は、江西省は南昌出身の銭太秀さんに出会い、日本の食文化によく似た料理を習いました。

中国南部の人々が誰でもこの日に食べるといわれる「小正月」(日本では、「日正月」(岡山弁ではひてい



## 第六回日本語教室講師団会議

二〇〇七年一月十日、第六回日本語教室講師団会議が岡山市長岡原宮住宅中央集会場で開かれました。会には、高島教室長岡原教室の講師九名と原告団の高杉団長が参加しました。

澤山代表(中国帰国者の日本語教室・岡山)の会は、あいさつの中で岡山の日本語教室が二周年を迎えた、総

る今までの調理法と違って、一品一品をゆつくりと丁寧に、むしろ弱火で調理する方法には驚きの声が上がっていました。

丁寧さは、例えばセロリは茎の部分だけでなく、葉っぱも残さず調理するやり方にも現れていました。

今まで開いてきた料理教室。全事前に試作し材料の選別と吟味が行われ、これらを元に献立表が当日配られる取り組みでした。

た。これらは久保さんをはじめとする委員の人々の努力の結果です。当日習った料理を家庭でも作れるようにと配慮をこめた活動です。作られた献立表は実に三〇枚に及びますが、この献立表をホーム・ページなどで公表してという声も寄せられています。

## 丁寧な作りに驚きの声

### 参加者二人

日本フアンの銭さんは、日本の料理も習いたいとの声も上げ、彼女を招いて、バラ寿司や巻き寿司を教えるあげることになりました。日中の友好交流、こんな形でも進みます。中国語を学んでいる人たちは、中国語の発音を知ろうとピンインを記録するなど、折り返し知らず知らずと人気が高まりました。交流のこんな風景・想像ができますか?



銭 太秀さん

中国料理の強火で短時間で調理する丸めてゆでた材料に甘酒をかけて、お正月らしい風味を出した湯圓でした。

最後に、三学期(一・二・三)月の日程と三月十四日に次回の講師団会議を開くことを決めて終わりました。

小林

次回の新聞送付作業は  
2月13日(火)午後1時半  
民主会館2階で行います。  
前回は手伝いくださった方です。

森和  
小内  
竹内  
竹井  
坪元  
中服